

セゾン資産形成の 達人ファンド

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第17期（決算日 2023年12月11日）

（作成対象期間 2022年12月13日～2023年12月11日）

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第17期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当ファンドは、国内外のそれぞれの地域に強みを持ち、安全性や長期的な収益力を基準に選別投資を行うファンドへ幅広く分散投資をすることにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期間も変わらず、この方針に基づき運用を行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第17期末(2023年12月11日)	
基準価額	36,838円
純資産総額	280,280百万円
第17期	
騰落率	17.0%
分配金(税込)合計	－円

- 騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「商品ラインアップ」⇒「セゾン資産形成の達人ファンド」⇒「運用状況・レポート」⇒「レポート・動画レポート」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

【ホームページ】 <https://www.saison-am.co.jp>

【電話番号】 03-3988-8668

【営業時間】 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄

主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 17年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年から現職。



運用体制の変更について

2023年6月28日をもって2007年4月より代表取締役を務め、2014年3月よりチーフインベストメントオフィサー（CIO）を兼任しておりました中野晴啓氏が退任しました。以後、当社はCIOを置いておりませんが、CIOが指示してきた基本的な運用の方向性は、2007年3月にファンドが設定されて以来、16年以上一貫して運用の実務を担ってきたマルチマネージャー運用部にしっかりと共有されており、もちろん目論見書に記載されているファンドの運用方針にも変更はなく、引き続き運用体制の強化を図りながら、皆さまの長期の資産形成に資するよう努めてまいります。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

◎受賞実績



**「R&Iファンド大賞2023」
優秀ファンド賞を受賞しました。**

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&Iファンド大賞2023」において「投資信託10年部門外国株式コア」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は10年連続となります。

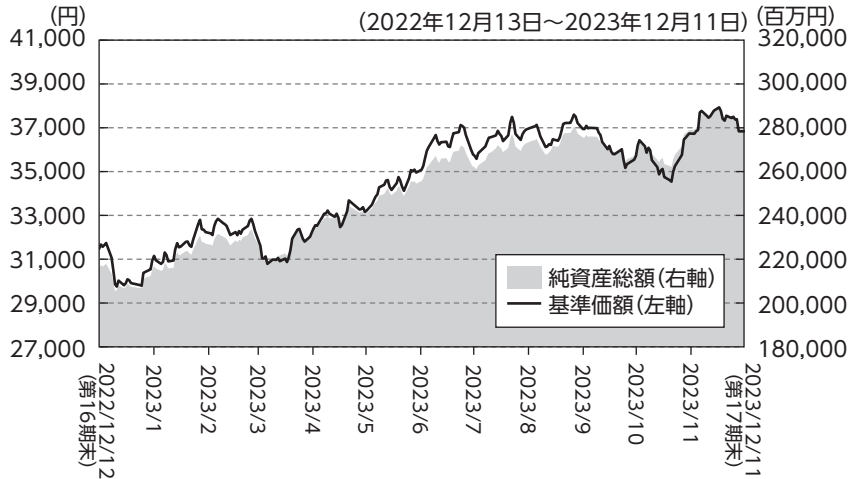


**「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」
最優秀ファンド賞を受賞しました。**

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 フレキシブル型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は9年連続となります。

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移



第17期首	31,475円
第17期末	36,838円
(既払分配金)	(-円)
騰落率	17.0%

- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

**ここをCHECK!****【基準価額の主な変動要因】**

当期は、投資先の株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドのなかでは、欧州の株式に投資する「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」が特に基準価額の上昇に貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」が銘柄選択効果により参考指数やベンチマークを上回った一方で、「コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)」、「スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ」、「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉」が銘柄選択の影響により、参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
対ドルでの為替レート (円安)
バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (米ドル)
アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンド S (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)

期中騰落率
17.0%

FSSAアジア・フォーカス・ファンド (米ドル)

< 基準価額のマイナス要因 >

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2022年12月13日~2023年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	197円 (107) (77) (13)	0.572% (0.312) (0.223) (0.037)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	197	0.573	

期中の平均基準価額は34,393円です。

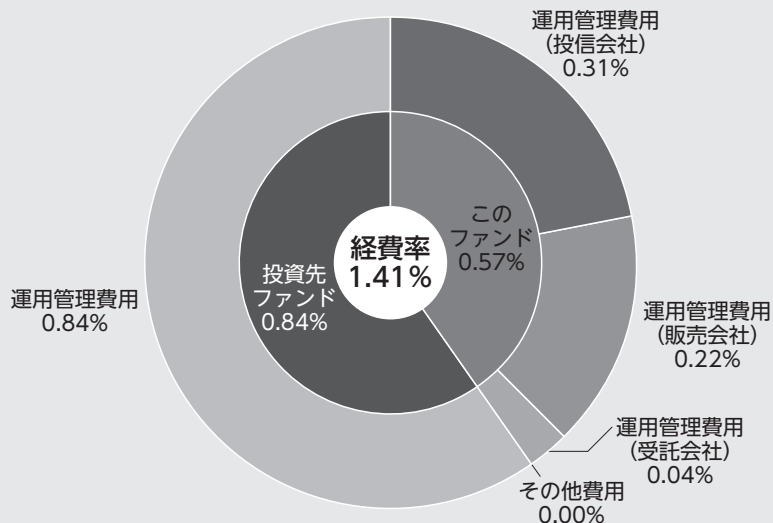
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

**ここをCHECK!**

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

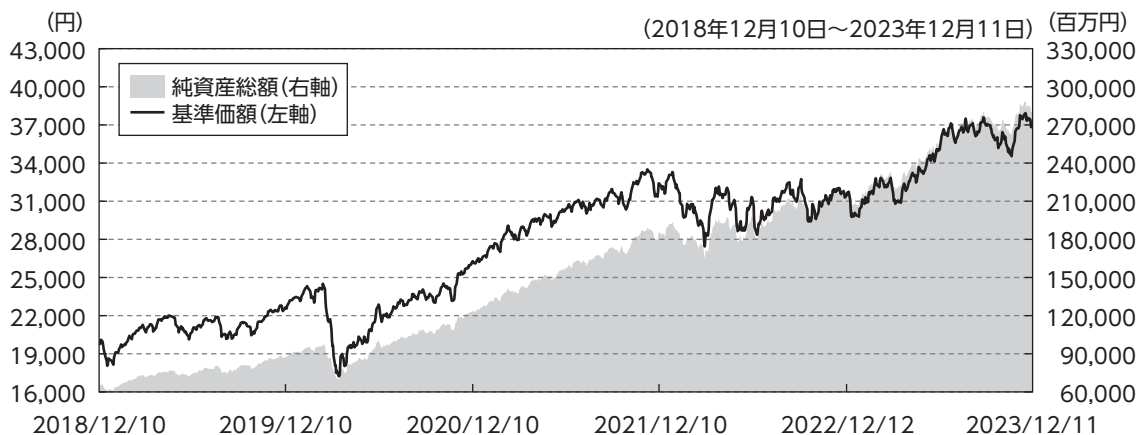
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.41%です。



経費率(①+②)	1.41%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.84%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

最近5年間の基準価額等の推移



	2018年12月10日 決算日	2019年12月10日 決算日	2020年12月10日 決算日	2021年12月10日 決算日	2022年12月12日 決算日	2023年12月11日 決算日
基準価額 (円)	20,019	22,649	26,279	32,402	31,475	36,838
期間分配金合計(税込) (円)	—	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	—	13.1	16.0	23.3	△2.9	17.0
参考指数の騰落率 (%)	—	13.4	13.4	30.9	2.2	22.0
純資産総額 (百万円)	65,718	87,718	123,813	185,489	215,903	280,280

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ここをCHECK!

<参考情報>

当期末(2023年12月11日)と5年前(2018年12月10日)の比較は以下のとおりです。

基準価額の騰落率(5年)	84.0%
参考指数の騰落率(5年)	109.9%
純資産額の増加額(5年)	214,561百万円

- ・騰落率は年率換算しておりません。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

期の初めは、ゼロコロナ政策の終了により中国経済の回復への期待が高まったほか、エネルギー価格が低下したことを背景に欧州を中心に先行きへの悲観的な見方が後退したことを受けて上昇しました。3月には米国で地方銀行が破綻したことをきっかけに金融不安が高まって下落する局面がありましたが、その後は落ち着きを取り戻して反発しました。4月から5月にかけては物価の上昇が続いていることを背景に米国や欧州で金融引き締め観測が強まるなかでも、景気の先行きに対する楽観的な見方が広がって堅調な展開となりました。6月から7月にかけては人工知能(AI)の普及への期待が高まったことを受けて米国のハイテク企業を中心に上昇しました。8月以降は米国を中心に金融引き締めが長期化するとの見方を背景に先行きへの不透明感が強まったほか、欧州や中国で景気の低迷が確認されたことを受けて下落基調となりました。10月には米国で長期金利が上昇したことを受けて下落する局面がありましたが、11月以降は物価が落ち着きつつあるとの見方を背景に、米国や欧州で政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて上昇しました。

米国は、景気が底堅く推移するとの見方が強まるなかで、人工知能(AI)の普及などによりハイテク企業の収益拡大期待が高まって上昇しました。欧州は景気が低迷を続けたものの先行きに対する悲観的な見方が後退して上昇しました。日本は株価の相対的な割安感が意識されるなかで企業価値向上の取り組みが本格化することへの期待が高まり、割安株を中心に上昇しました。新興国はゼロコロナ政策の終了後も経済活動が低迷したことを受けて中国が下落した一方で、韓国、台湾、インドなどが上昇し、全体でも上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

高金利通貨を買って低金利通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、ドルとユーロは次第にペースを落としながらも政策金利の引き上げが続いたことを背景に上昇しました。欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことを受けてユーロはドルに対しても上昇しました。円は金融緩和が長期間維持され、ドルやユーロなどとの金利差が大きい状況が続くとの見方を背景に下落しました。

期の初めは、日本銀行が長期金利の上昇を許容する政策変更を行ったことを受けて金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。その後は日本で金融緩和が長期間続くとの見方が強まって円安基調となりました。3月には米国での地方銀行の破綻をきっかけに金融不安が高まったことを受けて米国やユーロ圏で金融引き締め観測が後退して、対ドル、対ユーロで円高となる局面がありましたが、しかし、その後は米国やユーロ圏で政策金利が一段と引き上げられる一方で、日本では金融緩和の長期化観測が維持されたことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。7月には米国やユーロ圏で物価上昇が落ち着く兆候が確認されて金融引き締め観測が後退しドルやユーロが軟調となる一方で、日本で物価の上昇が続いていることを背景に金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇して対ドル対ユーロで円高となりました。8月以降は、米国やユーロ圏で政策金利が長い期間高い水準で維持されるとの見方が強まる一方で、日本ではマイナス金利を含む金融緩和策が長期間維持されるとの見方が強まったことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。12月は米国やユーロ圏で政策金利の早期引き下げ観測が強まった一方で、日本で金融緩和の縮小観測が強まったことを受けて対ドル、対ユーロで円高となりました。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き株式への投資比率を高位に保ち、投資機会の大きさを勘案して幅広く国際分散投資を行うことを基本に、市場の行き過ぎを活用することを念頭に置き、地域ごとの目標投資比率を一定の水準に保ちながら投資を行いました。

当期は、前期に続いて「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」の比率を徐々に引き上げ「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」の比率を徐々に引き下げたほかは目標投資比率の変更は行わず、積み立てなどのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、各ファンドの相対的な値動きの違いにより目標投資比率に対して組入比率が低下したファンドを中心に購入を行いました。また、6月には解約により現金比率が低下したことを受けて、目標に対して組入比率が高めとなっていた一部ファンドの売却を行いました。

前期末から当期末の組入比率は、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」が5.0%から4.0%へ低下しましたが、それ以外に大きな変動はありません。

**ここをCHECK!**

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2022年12月13日から2023年12月11日)

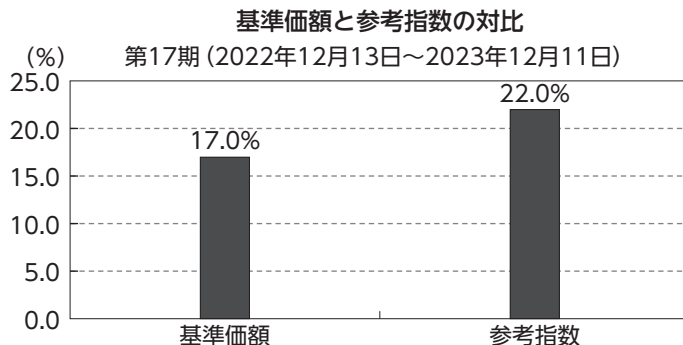
投資信託受益証券		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
国内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	千口	千円	千口	千円
	コムジェスト・エマージングマーケット・ ファンド90 (適格機関投資家限定)	1,168,025	2,325,000	263,002	534,999
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	-	-	282,167	300,000
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適 格機関投資家限定>	115,245	695,000	-	-
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関 投資家限定)	150,891	850,000	10,160	65,000
		1,175,376	2,115,000	-	-
投資証券		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
外	アイ ランド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	バンガード 米国オポチュニティファンド FSSAアジア・フォーカス・ファンド	28	33,750	-	-
		1,919	48,150	-	-
国	ルク セン ブルク	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセ ントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	501	19,650	-	-
	BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・ コア・セレクト	390	16,407	-	-
		109	9,550	-	-
	フォントベル・ファンド-mtxサステナ ブル・エマージング・マーケット・リーダーズ				

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込) を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第17期
	2022年12月13日～2023年12月11日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	27,019

- ・対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

引き続き、長期的な成果だけに焦点を当て、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。

当ファンドが長期の成果だけに焦点を当てているのは、市場の動きを正しく予想し続けることは難しい一方で、多面的な調査を行うことにより将来の価値をより良く見極めることができ、長期的には価格は価値を反映していくことが期待できると認識しているからであり、引き続き価値を重視した投資を行ってまいります。

具体的には、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ複数の投資先ファンドが長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて割安と考えられる場合にのみ投資を行っています。そのうえで、地域ごとの投資比率を市場全体に対する評価の影響を受ける時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会を活用することを目指しています。

当期の騰落率は前々期、前期に続いて参考指数を下回りましたが、資産を長期的に成長させるためには価値と価格の関係を重視して投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。市場の動きを追いかけずにこの状況を受け入れることにこそ当ファンドの存在意義があると認識しており、一貫した姿勢で投資を行ってまいります。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

お知らせ

当期中の約款変更について

2022年12月13日から2023年12月11日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

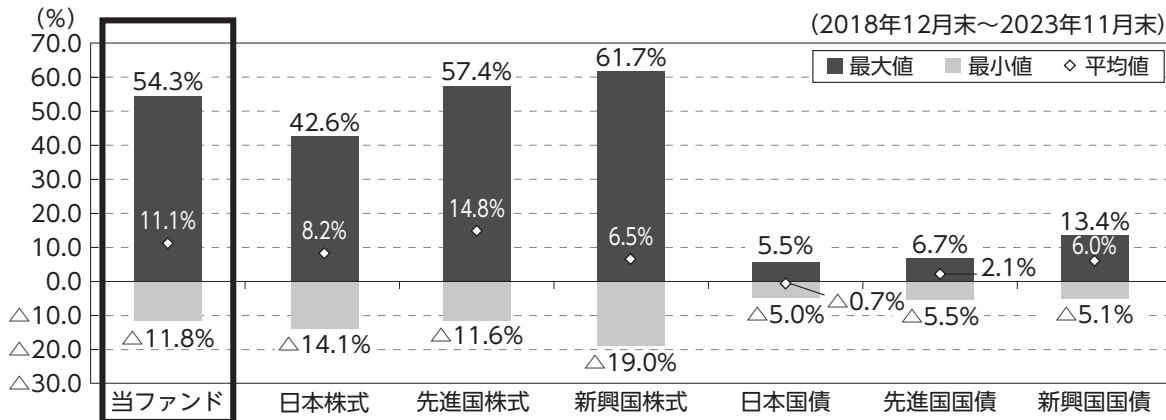
●2023年9月9日付

受益権の取得申込日および一部解約の請求日の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。 原則として、為替ヘッジは行いません。
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。 投資信託証券については、運用実績等を総合的に勘案して、投資の対象から入れ替えや除外を行うことがあります。また、投資基準に基づいて投資対象の候補とするファンドは随時追加や除外を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。 当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株式：MSCI ジャパン・インデックス (配当込)
- 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス (配当込)
- 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込)
- 日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス
- 先進国国債：ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックス
- 新興国国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

- ・「MSCIジャパン・インデックス (配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIワールド・インデックス (配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国23カ国と新興国24カ国の計47カ国で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

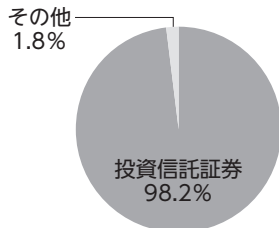
(2023年12月11日現在)

■組入ファンド

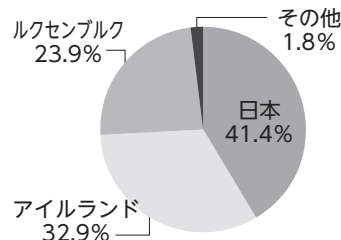
	第17期末(2023年12月11日)
	組入比率
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	25.7%
バンガード 米国オポチュニティファンド	21.9%
FSSAアジア・フォーカス・ファンド	11.1%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	10.2%
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	10.1%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	4.4%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	4.3%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	4.0%
フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ	3.7%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	2.8%
その他(短期金融資産等)	1.8%
組入ファンド数	10銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

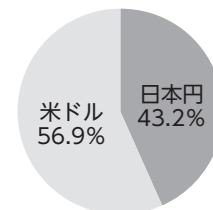
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・国・地域別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



ここをCHECK!

投資対象別に分類した組入資産の状況

■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	98.2%	10銘柄
その他(短期金融資産等)	1.8%	—
合計	100.0%	10銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	42.1%	3銘柄
欧州を中心に投資するファンド	25.7%	1銘柄
日本を中心に投資するファンド	11.6%	3銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	11.1%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	7.7%	2銘柄
その他(短期金融資産等)	1.8%	—
合計	100.0%	10銘柄

純資産等

項 目	第17期末
	2023年12月11日
純 資 産 総 額	280,280,111,890円
受 益 権 総 口 数	76,084,472,454口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	36,838円

・期中における追加設定元本額は15,485,313,317円、同解約元本額は7,996,357,807円です。

**ここをCHECK!**

・第17期における金額ベースの追加設定額は52,974,544,459円、同一部解約額は27,834,561,711円です。結果、第17期は差し引き25,139,982,748円の資金流入となりました。

・純資産等の前期末の状況は以下のとおりです。

項 目	第16期末
	2022年12月12日
純 資 産 総 額	215,903,073,650円
受 益 権 総 口 数	68,595,516,944口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	31,475円

組入ファンドの概要

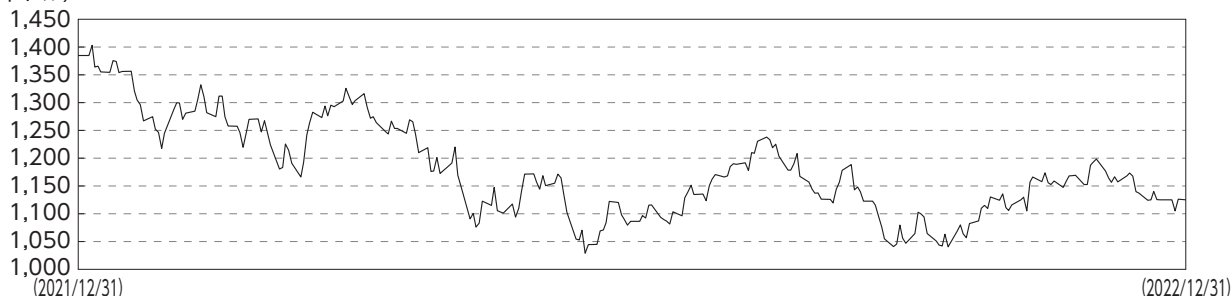
以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、29頁をご参照下さい。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	4.7
2	BioMarin Pharmaceutical Inc.	2.5
3	Flex Ltd.	2.2
4	Tesla Inc.	2.0
5	Biogen Inc.	2.0
6	Raymond James Financial Inc.	1.9
7	Alphabet Inc.	1.8
8	AECOM	1.7
9	Jacobs Solutions Inc.	1.6
10	Amgen Inc.	1.4
組入銘柄数		260銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

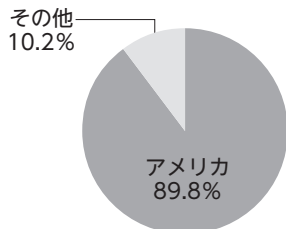
(ご参考)

■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理費率(年率)(%)		0.85

・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

■国・地域別配分

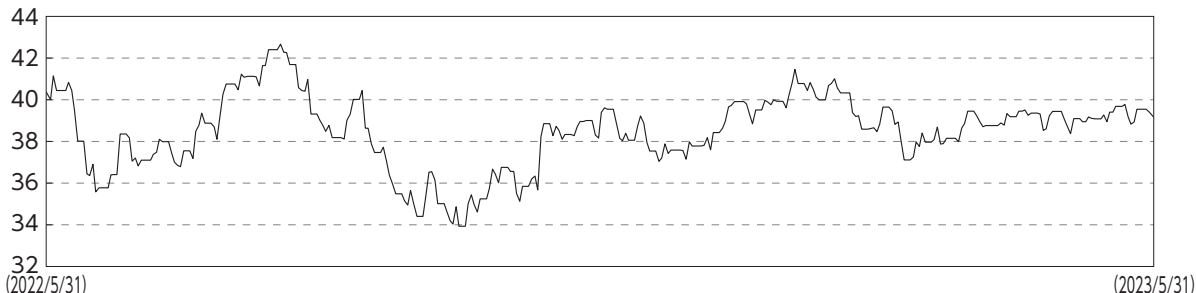


- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイトッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	10.1
2	Mastercard, Inc. - Class A	8.6
3	Amazon.com, Inc.	7.7
4	IQVIA Holdings, Inc.	6.5
5	Cooper Cos., Inc. (The)	4.9
6	Eaton Corp. PLC	4.9
7	CDW Corp./DE	4.7
8	Adobe, Inc.	4.6
9	Constellation Brands, Inc. - Class A	4.6
10	Abbott Laboratories	4.5
組入銘柄数		20銘柄

■1万口当たりの費用明細

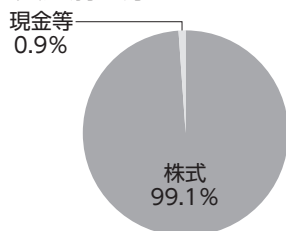
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

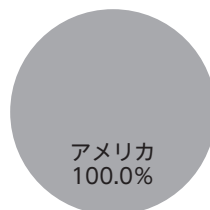
■費用明細 (2023年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

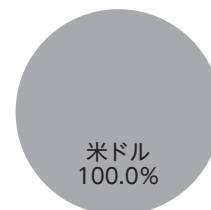
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分

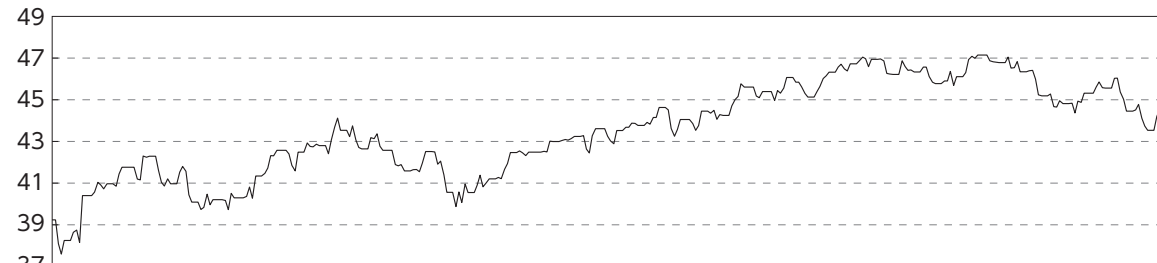


- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



(2022/10/31)

(2023/10/31)

■組入上位10銘柄

(2023年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Berkshire Hathaway Inc (Class A)	6.6
2	Alphabet Inc (Class C)	6.1
3	Microsoft Corp	5.5
4	Linde PLC	5.4
5	Mastercard Inc	5.0
6	Arthur J Gallagher & Co	4.3
7	Progressive Corp	4.3
8	KLA Corp	4.1
9	Oracle Corp	4.0
10	Waste Management Inc	4.0
	組入銘柄数	27銘柄

■1万口当たりの費用明細

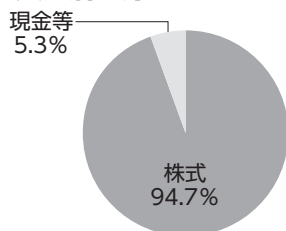
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

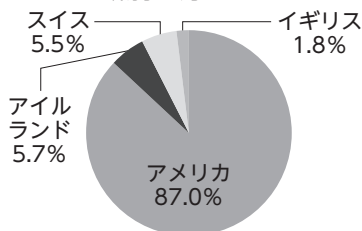
■費用明細 (2023年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

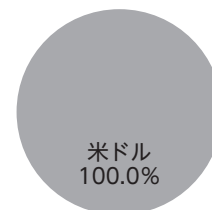
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分

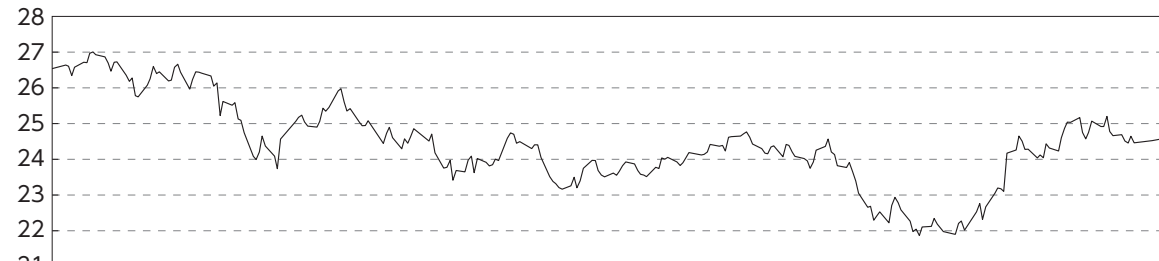


- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・フォーカス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



(2021/12/31)

(2022/12/31)

■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	6.6
2	Singapore Telecommunications LTD	5.5
3	ICICI Bank	4.8
4	Sony Corporation	4.1
5	Colgate-Palmolive (India) Limited	3.9
6	Uni-President China Holdings Ltd.	3.4
7	Samsung Electronics Co Ltd Pfd NV	3.1
8	Olympus Corp.	2.8
9	CSL	2.6
10	Tencent Holdings Ltd.	2.6
組入銘柄数		51銘柄

■1万円当たりの費用明細

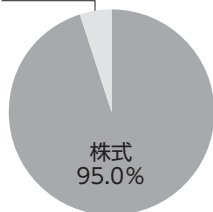
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

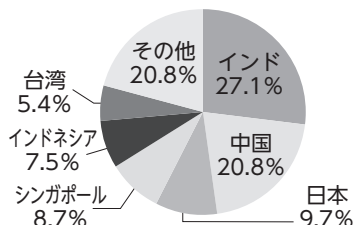
■費用明細 (2022年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

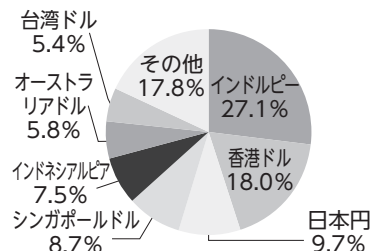
■資産別配分

現金等
5.0%株式
95.0%

■国・地域別配分



■通貨別配分

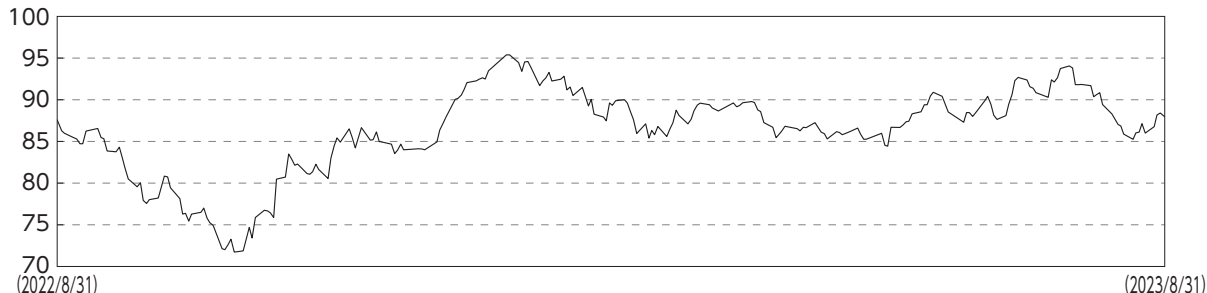


・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

5. フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor-Sp Adr	6.7
2	Samsung Electronics Shs	5.6
3	Alibaba Group Holding Ltd	4.4
4	Tencent Holdings Ltd	4.2
5	Hdfc Bank Limited	4.2
6	Kia Motors Corp	3.4
7	Samsung Engineering Co Ltd	3.0
8	Pt Bank Mandiri Shs	2.8
9	Ping An Insurance Group Co-H	2.6
10	Focus Media Information Technology Co Ltd	2.5
	組入銘柄数	50銘柄

■1万口当たりの費用明細

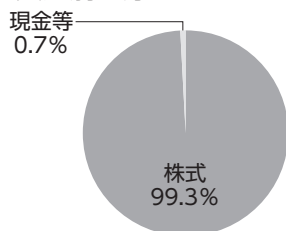
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

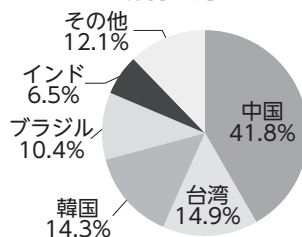
■費用明細 (2023年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

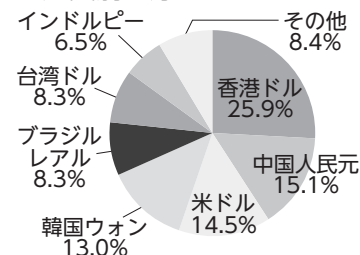
■資産別配分



■国・地域別配分



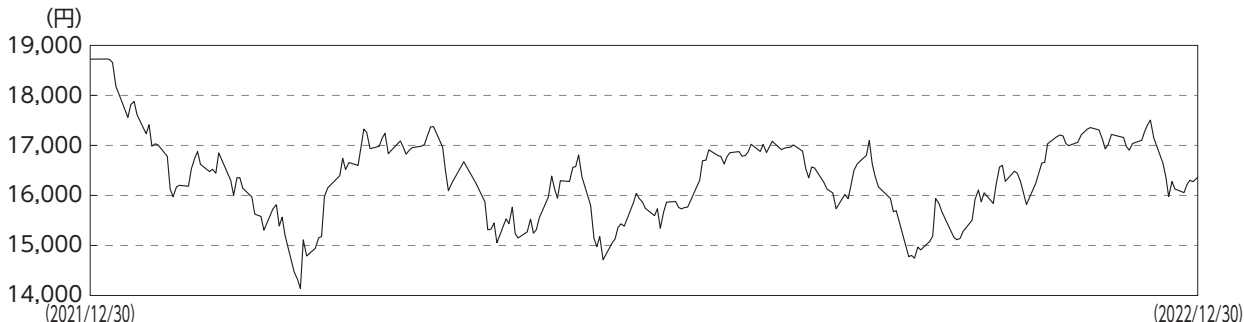
■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

6. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	145円 (91) (45) (9)	0.88% (0.55) (0.28) (0.06)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.02 (0.02)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.04 (0.04)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他 1)	7 (7) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合 計	162	0.98

期中の平均基準価額は16,473円です。

・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2022年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

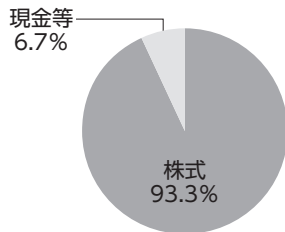
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

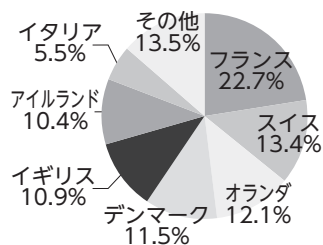
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	NOVO NORDISK A/S-B	8.2
2	ASML HOLDING NV	6.8
3	ESSILORLUXOTTICA	6.5
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	4.9
5	LINDE PLC	4.7
6	ALCON INC	4.0
7	ACCENTURE PLC-CL A	3.7
8	STRAUMANN HOLDING AG-REG	3.6
9	EXPERIAN PLC	3.4
10	JERONIMO MARTINS	2.9
組入銘柄数		39銘柄

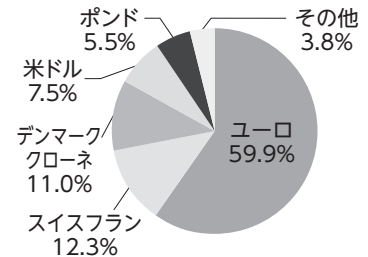
■資産別配分



■国・地域別配分



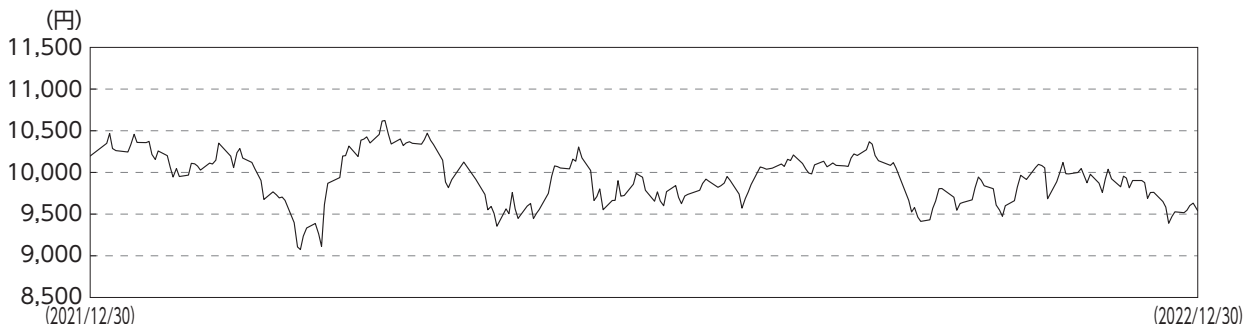
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

7. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	98円 (62) (31) (5)	0.99% (0.63) (0.31) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.04 (0.04)
(c) 有価証券取引税 (株 式)	6 (6)	0.06 (0.06)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	24 (14) (0) (9)	0.24 (0.14) (0.00) (0.09)
合 計	132	1.33

期中の平均基準価額は9,929円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2022年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.3%
組入銘柄数	1銘柄

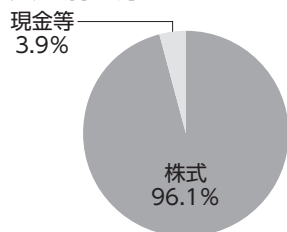
— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■組入上位10銘柄

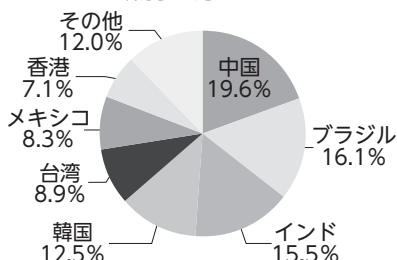
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	5.7
2	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	5.4
3	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	5.3
4	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	4.9
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	4.8
6	AIA GROUP LTD	4.7
7	WEG SA	4.1
8	LOCALIZA RENT A CAR	3.8
9	DELTA ELECTRONICS INC	3.7
10	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	3.7
組入銘柄数		38銘柄

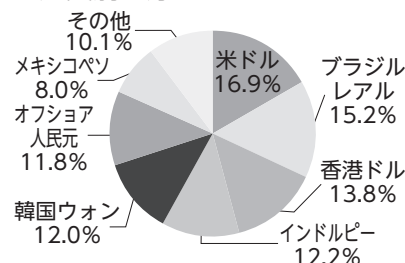
■資産別配分



■国・地域別配分



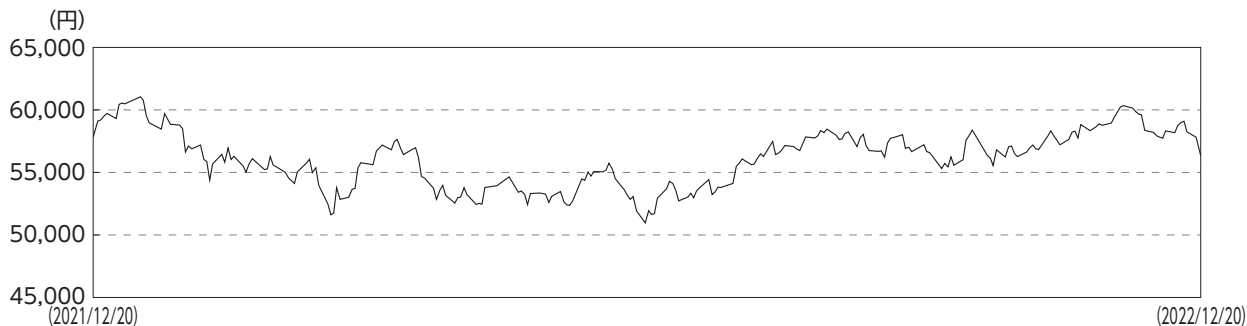
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

8. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2021年12月21日～2022年12月20日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	467円 (414) (31) (22)	0.83% (0.73) (0.06) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	19	0.03
(c) そ の 他 費 用	2	0.00
合 計	488	0.86

期中の平均基準価額は56,565円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2022年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

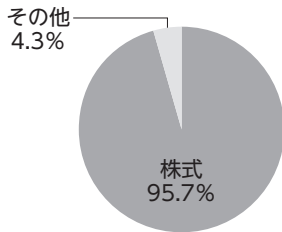
<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

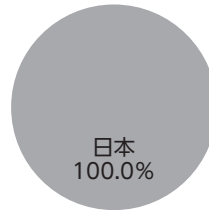
(2022年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	MARUWA	8.7
2	東洋炭素	5.0
3	マックス	4.9
4	トーセイ	4.4
5	京成電鉄	4.0
6	フジミインコーポレーテッド	3.9
7	全国保証	3.9
8	ダイレクトマーケティングミックス	3.7
9	クミアイ化学工業	3.6
10	シッパヘルスケアホールディングス	3.5
組入銘柄数		33銘柄

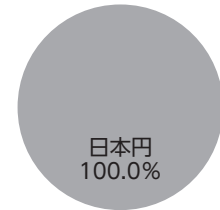
■資産別配分



■国・地域別配分



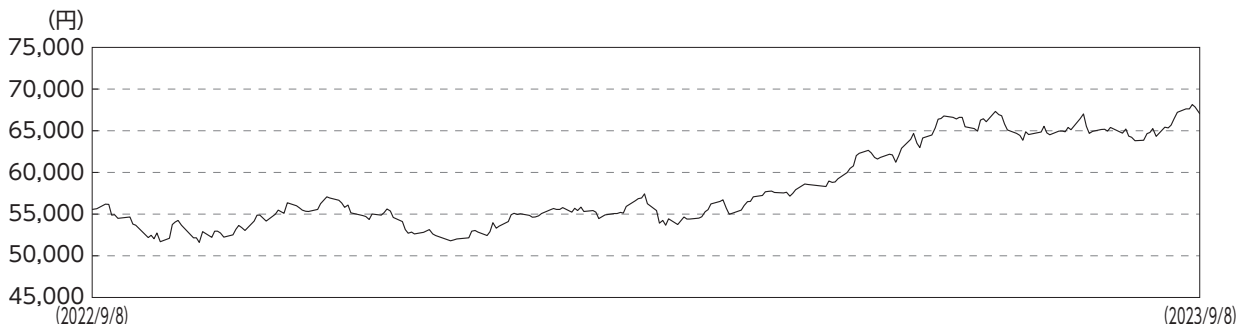
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

9. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年9月9日～2023年9月8日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	512円 (494) (-) (18)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	22	0.04
(c) そ の 他 費 用	2	0.00
合 計	536	0.92

期中の平均基準価額は58,166円です。

■組入上位10銘柄

(2023年9月8日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	日立製作所	9.6
2	ソニーグループ	8.2
3	三菱商事	7.9
4	セブン&アイ・ホールディングス	7.0
5	ロート製薬	5.6
6	三菱UFJフィナンシャル・グループ	5.0
7	オリックス	4.9
8	東京海上ホールディングス	4.4
9	東京エレクトロン	4.4
10	リクルートホールディングス	4.4
組入銘柄数		27銘柄

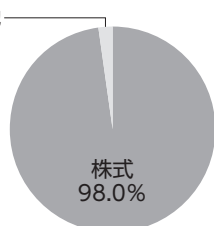
・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

・その他費用は、監査費用です。

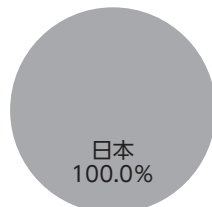
・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

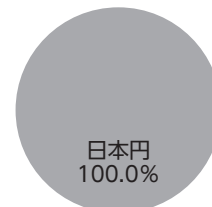
■資産別配分

その他
2.0%

■国・地域別配分



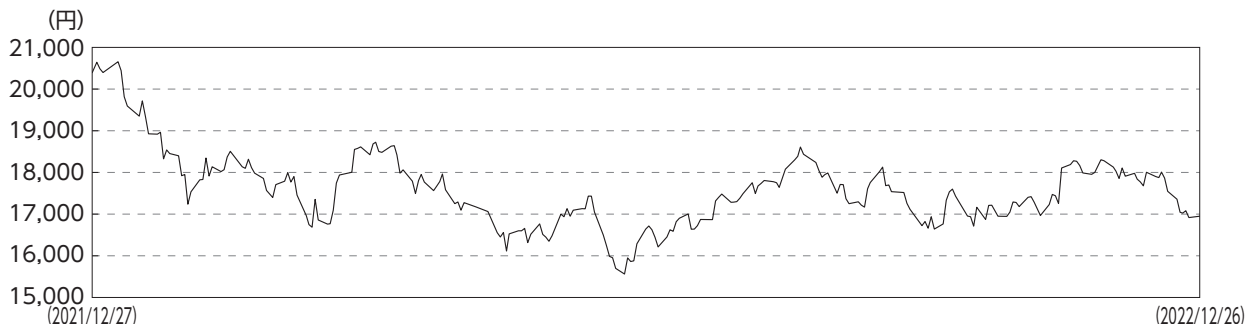
■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

10. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2021年12月28日～2022年12月26日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	151円 (97) (49) (5)	0.85% (0.55) (0.27) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.03 (0.03)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (-)	0.00 (0.00) (-)
合 計	157	0.89

期中の平均基準価額は17,688円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2022年12月26日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

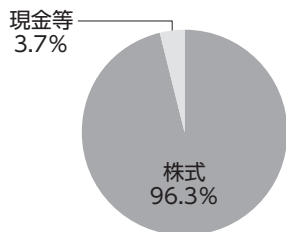
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

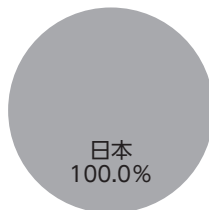
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	第一生命ホールディングス	3.9
2	神戸物産	3.4
3	日本空港ビルデング	3.1
4	オリックス	3.0
5	シスメックス	3.0
6	オリエンタルランド	2.9
7	ファーストリテイリング	2.9
8	ソニーグループ	2.9
9	ニトリホールディングス	2.9
10	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	2.8
組入銘柄数		44銘柄

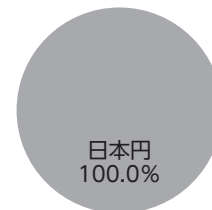
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

TOPICS：《当社の直接販売の状況 第17期（2022年12月13日～2023年12月11日）》

○ 当期間のふりかえり

2023年 4月	純資産総額（直販と販売会社の合計） 6,000億円を突破
11月	純資産総額 7,000億円を突破

○ 2023年12月11日現在 お客さま口座数 157,282件(前期末比+0.6%)

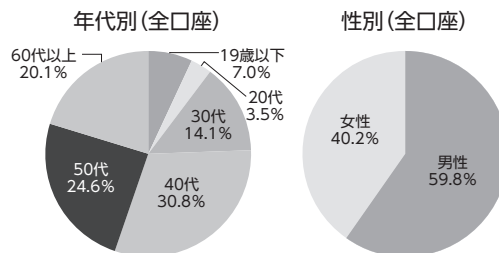
当期間でお客さまは946名増え、前期間の増加数と比べると1,389件減少しました。

また「つみたてNISA」は33,369名(当期間で501件増)、「ジュニアNISA」は6,283名(当期間で315件減)のお客さまにご活用いただいています。※NISAに関する数値は2023年11月末時点(前期末のお客さま口座数156,336件、前期間の口座増加数+2,960件)

○ お客さまの特徴

前期との比較では、性別構成に大きな変化はありませんでしたが、年代構成では、「50代」、「60代以上」の構成比率が増加しています。

口座開設から長期投資を継続いただいたお客様が年数を経たことで、年代の高いお客様の構成比率が少しずつ上昇しています。



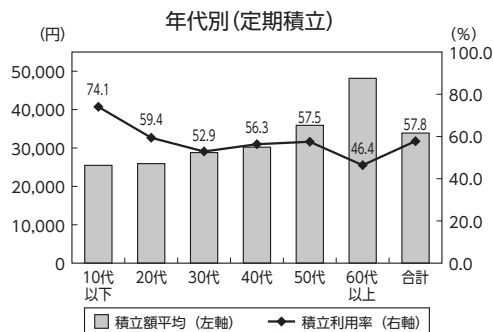
○ ファンドの設定・解約の状況

当期間の追加設定金額は前期間を若干下回る程度で推移しましたが、解約金額が増加したことで、当期間の純資金流入額は、前期間の金額296.2億円から減少し、76.3億円となりました。

○ 定期積立プラン

当サービスの全体の利用率は57.8%、60代以上を除き各年代のお客さまの5割以上の方がご利用されています。積立額の平均は33,889円と前期間から573円低くなりました。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド3種類のいずれか、もしくは複数のファンドで定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2023年11月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない、一顧客あたりの平均値です。



お客さまに寄り添う運用会社を目指して、「セゾン顧客本位の相談室」の運営、対面やオンラインでのセミナーを引き続き実施し、お客様の長期投資に役立つ情報をお届けしてまいりました。さらに、お客様の利便性をより高めるため、2024年1月に新ネット取引「セゾンとつづく」をリリースいたします。お客様の長期投資を、二人三脚で支えさせていただくツールとして、パソコンやスマートフォンからスムーズにお手続き、お取引いただけるようになります。また、この「セゾンとつづく」を通してお手続きいただくことで、クレジットカード決済での積立でもご利用いただけるようになります。

引き続き今あるサービスの向上、新しいサービスの開始の両面に取り組んでまいりますので、ぜひご期待ください。これからも投資家の皆さまと共に長期で成長を目指す会社として、誠実なサービスのご提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が2023年12月11日現在、運用、販売するファンド3種類を合計した数値となっています。